

向き合って、学び合って、未来をつくる下永谷

学校通信

4月号



しもながや

令和3年4月7日 発行

横浜市立下永谷小学校

学校教育目標

向き合って、学び合って、未来をつくる下永谷

校長 鈴木陽一

昨日、142名の一年生が入学してきました。そして、本日には、2年生から6年生がそろっての始業式を行うことができます。子どもたちも、新しい学年に向けて、希望に燃えて目を輝かせながら参加していました。

昨年度は、一斉休校中に、入学式と始業式だけを行い、6月からようやく分散登校ができ、7月から給食が再開できました。まさに異常事態の中での新年度の始まりでした。そう考えると、毎日子どもたちが登校できることはとても幸せなことだと改めて感じています。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防については、引き続き行っていかなければなりません。毎日の検温等の健康観察や、校内でのマスクの着用をはじめ手洗いの励行、密な接触を避けての教育活動を行ってまいります。引き続き、お子様には、我慢をしていただかなければならないことも多くあるかと思ひますし、保護者の皆様にもご協力をお願いことが多々あるかと思ひます。ご理解のほどよろしくお願ひいたします。

そんななかでも、学校教育目標「向き合って、学び合って、未来をつくる下永谷」を実現するために教育活動を工夫して進め、子どもたち同士が気持ちを向き合わせながら学びを創るとともに、教職員も、子どもたちや保護者の皆様・地域の皆様に真摯に「向き合い」、子どもたちが「学び合える」学習の工夫を進めるとともに教職員自身も学び合っています。そして、子どもたちの「未来」を保護者の皆様や地域の皆様とともにつくってまいります。

子どもたちは、新しい学年で、やる気と期待を胸に抱いての学校生活の出発となります。とはいえ不安も抱えているかと思ひます。そんな時は、担任だけでなく教職員の誰でも構いませんので声をかけるようお伝えください。また、保護者の皆様も心置きなくご相談ください。教職員一同、保護者の皆さんや地域の皆さんとともに子どもたちの成長を支えてまいります。今年度も、ご理解ご協力をよろしくお願ひいたします。